

参 考 文 献

- ・藍澤宏 他 (1993. 6) 、大都市の既成住宅地における土地利用変容からみた居住地形成要因に関する研究、一東京都世田谷区を事例地として一、日本建築学会計画系論文集 No. 448 、pp39-48
- ・青山吉隆 (1984) 、土地利用モデルの歴史と概念、土木学会論文集 第347号/IV-1、pp19-28
- ・明石達生 他 (1989. 8) 、MXD (複合開発) による市街地形成及び住機能確保について、住宅 Vol. 38、pp16-21
- ・浅見泰司 (1989) 、平衡市街地論：用途地域の中での住宅の適正配置に向けて、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 24、pp325-330
- ・浅見泰司 (1992) 、都心居住促進の論拠、住宅政策論と都市計画理論の連携のための基礎的研究／住宅問題小委員会平成3年度研究報告書、日本建築学会建築経済委員会、pp13-28
- ・浅見泰司 (1994) 、東京一極集中と居住の問題、東京一極集中問題の研究、日本経済研究センター No. 84、pp107-118
- ・阿部成治 (1993) 、用途地域構成比と住宅形態の関連に関する研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 28、pp259-264
- ・天野克也 他 (1991) 、地方都市中心部における人口減少に関する研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 26、pp577-582
- ・荒川俊介 他 (1992秋) 、大都市圏住宅政策の課題と展望、すまいろん 第24号、pp42-62
- ・荒川俊介 (1992冬) 、東京圏における住宅需要の動向と今後の住宅政策、すまいろん 第25号
- ・荒川俊介 (1994. 8) 、総合的な都市居住論に向けて、住宅 Vol. 43、pp54-59
- ・李喜演 (1989) 、地理統計学、法文社
- ・飯田勝幸 他 (1986) 、都市空間における人口密度分布の変容に関する研究、一人口密度の増加・減少街区の分布傾向について一、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 21、pp271-276
- ・五十嵐敬喜 (1996) 、都市と規制緩和、ジュリスト No. 1082、1996. 1. 1-15、p28 を引用
- ・石倉健彦 (1994. 8) 、都心型住宅の設計計画、住宅 Vol. 43、pp45-53
- ・石田頼房 (1992) 、土地高度利用論の歴史的展開—概説及び田口卯吉の高度利用

論と現代一総合都市研究 第46号、1992. 9、pp139-153

- ・石丸紀興（1989）、「地方中核都市における都心の動向と都心居住政策の実践—広島市の場合—」、都市計画 No. 158、pp41-46
- ・伊藤明子（1994夏）、「家族と住宅政策」、都市住宅学 第6号、pp40-46
- ・伊東康子 他（1994秋）、「変容する現代家族のライフスタイルと居住ニーズに関する研究」、都市住宅学 第7号、pp35-38
- ・井上俊之（1994. 8）、「都心居住の推進、—21世紀を向けた新しい大都市生活空間の形成」、住宅 Vol. 43、pp16-20
- ・岩田喜規久男（1992. 8）、「大都市居住はどうあるべきか」、日本不動産学会誌 第7卷 第4号、pp10-15
- ・石見利勝 他（1989）、「東京の都心マンションの利用実態と利用者による都心の魅力の評価」、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 24、pp355-360
- ・梅野捷一郎 他（1994. 8）、「都心住宅の創出・ニューヨークに学ぶ、一マンハッタン住宅地の視察を通じて—」、住宅 Vol. 43、pp60-65
- ・大江守之（1986）、「東京都心地域における土地利用及び土地所有の変化と居住者の動向」、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 21、pp277-282
- ・大江守之（1988. 9）、「東京都心地域における居住者類型と住機能確保の方向」、住宅 Vol. 37、pp23-30
- ・大江守之（1991）、「住宅供給による人口回復効果に関する研究」、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 26、pp787-792
- ・大江守之（1992）、「東京都心地域における人口構造変化と居住地の変容に関する研究」、pp7-38
- ・大江守之（1994夏）、「都心居住・コミュニティ・家族、—その変化の相互関連と将来展望—」、都市住宅学 第6号、pp22-26
- ・大方潤一郎（1989. 10）、「市街地住宅確保とゾーニング」、住宅 Vol. 38、pp 16-19
- ・大谷辛夫（1989）、「大都市の居住問題について」、日本不動産学会誌 第4巻 第3号、pp3-7
- ・大西一清（1985. 7）、「単身世帯と住宅政策」、住宅 Vol. 34、pp9-14
- ・大西隆（1995）、「大都市の成長管理政策—東京一極のは是正—」、都市計画 No. 192、pp18-25
- ・大野輝之（1994）、「90年代の成長管理」、都市住宅学 第8号、pp26-32
- ・大場亭（1995）、「容積率の実現の程度に地域地区や都市基盤が与える影響の分析」、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 30、pp571-576
- ・大村英美雄（1994. 8）、「都心居住の推進」、住宅 Vol. 43、pp25-28

- ・岡田知子 他 (1985) 、都心業務地域における定住要因に関する研究、一大阪市船場地区の場合一、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 20、pp163-168
- ・岡本圭司 (1990. 9) 、東京都の新しい住宅政策の方向、住宅 Vol. 39、pp32-39
- ・柏谷増男 (1988) 、住宅立地分布を用いた年齢階級別人口の推定、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 23、pp1-6
- ・片方信也 他 (1994. 2) 、京都市中心部における併用住宅の住み方と改善の経歴に関する研究、日本建築学会計画系論文集 No. 456、pp189-198
- ・加藤邦彦 (1990. 9) 、都市計画法及び建築基準法の改正について、住宅 Vol. 39、pp25-31
- ・金井潤一 (1991) 、都心周辺部低層密集市街地における近年の土地利用変化に関する研究、pp583-588
- ・鎌田宜夫 (1991. 8) 、単身居住の今日的課題、住宅 Vol. 40、pp2-6
- ・神山智之 (1996) 、大都市における都心居住について、都市問題 第87券 第1号、pp63-76
- ・川上光彦 他 (1988. 6) 、新規住宅供給による世帯の住み替え関連モデル、日本建築学会計画系論文集 No. 388、pp86-97
- ・川上光彦 他 (1988. 12) 、住み替え関連モデルを用いた住宅供給計画支援モデル、日本建築学会計画系論文集 No. 394、pp32-41
- ・川上光彦 他 (1990. 5) 住み替え関連モデルを用いた目標居住水準達成のための住宅供給計画支援、日本建築学会計画系論文集 No. 411、pp77-88
- ・川上秀光 他 (1990秋) 、「都心居住の行方を探る」へ向けて、すまいろん 第16号、 pp34-65
- ・川上秀光 (1990冬) 、都心居住の行方を探る、すまいろん 第23号、 pp44-57
- ・河崎恭広 (1985. 7) 、住宅・都市整備公団における単身用住宅の現状、住宅 Vol. 34、 pp36-40
- ・木村光宏 (1988. 7) 、居住環境整備と住宅・都市整備公団、住宅 Vol. 37、pp25-30
- ・熊谷直次 (1989. 6) 、社会環境変化と地域開発事業手法、住宅 Vol. 38、pp32-37
- ・黒田昭博 (1988. 9) 、都心居住の活性化をめざして、一大阪市における住機能確保のための住宅施策一、住宅 Vol. 37、pp36-41
- ・黒田昭博 (1989. 10) 、大阪市における市街地住宅施策について、住宅 Vol. 38、pp25-30
- ・建設省都市計画課 (1986. 5) 、都市計画における都市型住宅団地の位置づけ、住宅 Vol. 35、pp34-38
- ・建設省市街地住宅整備室 (1988. 9) 、大都市圏における市街地住宅の供給、住宅

Vol. 37、pp8-11

- ・建設省都市計画課（1992.8）、都市計画法の改正と住宅政策の連携、住宅
Vol. 41、pp8-14
- ・建設省市街地建築課（1992.8）、建築基準法の改正と住宅政策の連携、住宅
Vol. 41、pp15-19
- ・建設省住宅政策課（1992.8）、大都市法の改正の概要と都市計画との連携、住宅
Vol. 41、pp20-23
- ・小泉秀樹（1993）、商業地域内居住地の近年の変容実態と計画課題、日本都市計
画学会学術研究論文集 No. 28、pp829-834
- ・小泉秀樹（1994）、東京区部における居住人口確保に必要な住宅供給量の算定、
都市住宅学会、都市住宅学 第7号、pp63-66
- ・小泉秀樹（1994秋）、東京都区部における都心居住人口確保に必要な住宅供給量
の算定、都市住宅学 第7号、pp63-66
- ・小泉秀樹、深田知子（1995）、80年代以後の都心居住研究の意味と課題—都心居
住施策展開へ向けて—、日本都市住宅学会 第3回学術講演会 研究発表論文・
概要集、p 190
- ・小泉秀樹（1996）、都心地区区分に対応した居住機能誘導手法の体系的運用に関
する考察、東京大学、pp4-5
- ・合田純一（1989.10）、大都市住宅政策の考え方と方向について、住宅 Vol. 38、
pp20-24
- ・越沢明（1993）、東京問題をどうするか、東京問題の経済学 座談会、経済セミ
ナー、pp6-17
- ・小島秀薰（1994春）、最近の国の都市住宅関連施策の回顧と展望、都市住宅学 第
5号、pp72-76
- ・小林義和（1988.9）、「都心居住型住宅」の開発戦略について、住宅 Vol. 37、
pp42-47
- ・小林義和（1989.6）、市街地住宅総合設計制度と複 合機能型公・民共同開
発について、住宅 Vol. 38、pp19-24
- ・小林重敬（1992.8）、都市計画法改正と住宅政策、住宅 Vol. 41、pp2-7
- ・小林重敬（1994）、都市計画からみた都市居住論議の見取図、住宅、日本住宅協
会、Vol. 43、pp2-9
- ・斎藤義則（1994.2）、地方都市圏における人口分布変動状態とその変動要因から
みた人口配置計画の課題、日本建築学会計画系論文集 No. 456、pp179-188
- ・坂下昇（1994）、都市成長管理政策の経済学的考察、東京一極集中問題の研究、

日本経済研究センター No. 84、pp88-106

- ・坂本一郎 他 (1992) 、東京都区部における小規模商業地の集積規模変化と縮小要因に関する研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 27、pp457-462
- ・坂本道弘 (1994春) 、最近の公団・民間の都市住宅関連プロジェクトの回顧と展望、都市住宅学 第5号、pp93-97
- ・左鴻晴宏 (1985. 7) 、公営住宅における単身世帯住宅、住宅 Vol. 34、pp31-35
- ・佐藤誠治 他 (1987) 、地方都市の都心域における居住者層の類型と居住意識、一大分市の都心地域における実証的研究一、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 22、pp181-186
- ・佐藤宜秀 (1988) 、東京区部における土地建物利用状況と容積率規制との対応に関する研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 23、pp241-246
- ・沢木俊岡 (1988. 9) 、東京都心3区における住機能の実態、住宅 Vol. 37、pp64-70
- ・沢木俊岡 (1992. 8) 、都心居住政策における都市計画・住宅政策の連携、住宅 Vol. 41、 pp39-44
- ・司波寛 (1995) 、都市計画における規制緩和と都市環境改善の可能性、都市計画 No. 195、日本都市計画学会、pp15-19
- ・下総薰 (1988. 9) 、都市構造を考える視点、一都心の住宅供給のあり方をめぐって一、住宅 Vol. 37、pp2-7
- ・住宅宅地審議会 (1985. 7) 、新しい住宅事情に対応する住宅・宅地政策の基本的体系に対する答申、住宅 Vol. 34、pp46-66
- ・須永和久 (1989. 10) 、アメリカの大都市における都心住宅確保の試み(その2)、住宅 Vol. 38、pp36-41
- ・住田昌二 (1992. 8) 、住宅計画と都市計画、一市町村住宅計画を中心に一、住宅 Vol. 41、pp34-38
- ・住田昌二 (1992夏) 、戦後住宅供給政策の検証と展望、すまいろん 第23号、pp45-65
- ・頬あゆみ (1995春) 、最近の国の都市住宅関連施策の回顧と展望、都市住宅学 第9号、pp30-31
- ・世田谷区 (1989. 10) 、世田谷区における住宅政策の展望、住宅 Vol. 38、pp31-35
- ・全国市街地再開発協会 (1989) 、大都市都心部における住機能確保に関する調査、pp5-7
- ・園田眞理子 (1992. 12) 、持家における高齢者含む世帯の居住特性、日本建築学会計画系論文集 No. 442、pp107-116

- ・園部雅久（1994冬）、都心の卓越空間と居住者像、都市住宅学 第8号、pp6-10
- ・高坂謙次（1988. 6）、単身高齢者の転居希望要因に関する研究、日本建築学会計画系論文集 No. 388、pp108-115
- ・高坂謙次（1990. 3）、高齢者の同別居の現状と志向に関する研究、一とくに「親密別居」の動向を通して、日本建築学会計画系論文集 No. 409、pp85-94
- ・高田光雄 他（1991）、子育て期世帯の都心居住、一関西 3都市の比較研究－日本都市計画学会学術研究論文集 No. 26、pp775-780
- ・高見沢邦郎 他（1990）、東京都区部における容積率実現の程度に関する実態的研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 25、pp529-534
- ・高見沢実（1991）、東京都心地域における住機能の存在形態に関する基礎的考察、一港区赤坂六本木地区を対象に、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 26、pp157-162
- ・高見沢実（1992）、都心居住論の時期区分と今日の位置づけ、住宅政策論と都市計画理論の連携のための基礎的研究／住宅問題小委員会平成3年度研究報告書、日本建築学会建築経済委員会、pp29-39
- ・高見沢邦郎（1992. 8）、住環境整備と都市計画・住宅政策の連携、住宅 Vol. 41、pp45-49
- ・高見沢実 他（1994春）、最近の地方公共団体の都市住宅関連施策の回顧と展望、都市住宅学 第5号、pp77-92
- ・高寄昇三（1989）、都市経営から見た都心居住、都市計画 No. 158、pp17-21
- ・巽和夫 他（1986. 5）、都市型住宅のめざすもの、住宅 Vol. 35、pp2-7
- ・巽和夫（1988. 9）、関西大都市における都心居住、住宅 Vol. 37、pp12-17
- ・巽和夫（1990. 9）、大都市地域における住宅・宅地供給について、住宅 Vol. 39、pp4-9
- ・巽和夫（1995）、大都市都心居住のアメニティ、都市問題研究 第47券 第1号 p33
- ・田中勝 他（1986）、公営住宅ストックにおける高齢・貧困層の集中傾向、一名古屋市営住宅における調査分析、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 21、pp367-372
- ・田中徹（1988）、市街地整備及び地域地区制の都市機能集積に及ぼす影響についての研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 23、pp235-240
- ・谷村秀彦、梶秀樹、池田三郎、腰塚武志（1986）、朝倉書店、都市計画数理、pp121-146
- ・谷明彦（1989. 8）、アメリカにおけるMXD、住宅 Vol. 38、pp21-25
- ・谷本道子（1991. 8）、若年単身の問題、住宅 Vol. 40、pp15-20
- ・玉川英則（1986）、都市内における土地利用の秩序生の計量的表現に関する研究、

新潟大学

- ・沈健明（1994）、東京都心地域の事業所集積動向と成長地域の類型化、筑波大学大学院修士論文
- ・寺井真人 他（1994秋）、横浜都心居住の実態について研究、一都心区の10年間の建物更新動向に着目して一、都市住宅学 第7号、pp59-62
- ・寺木彰浩 他（1995春）、最近の地方公共団体の都市住宅関連施策の回顧と展望、都市住宅学 第9号、pp32-52
- ・東京大学教養学部統計学教室（1991）、統計学入門、東京大学出版会
- ・都市住宅学会（1994冬）、真の都市居住の姿を求めて、一独り者のライフスタイルは新しい都市住宅を創造できるか一、都市住宅学 第8号、pp69-81
- ・都市住宅学会（1995春）、ワークショップ「家族ライフスタイルの変化と住宅」、都市住宅学 第9号、pp68-76
- ・土肥絵里子 他（1985）、都心居住者の環境評価に関する考察、一大阪都心地域旧来型市街地居住者調査を通じて一、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 20、pp175-181
- ・土肥博至 他（1986）、住民の居住環境評価と定住意識の関連についての考察、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 21、pp49-54
- ・富安秀雄（1986. 5）、既成市街地における住宅団地設計の考え方について、住宅 Vol. 35、pp8-15
- ・中大路美智子（1991. 8）、高齢単身者をめぐる問題、住宅 Vol. 40、pp26-33
- ・中島高志（1985）、台東区住商併用地区における人口安定地区についての考察、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 20、pp169-174
- ・中筋修（1988. 7）、都市住宅を自分達の手で創る会、住宅 Vol. 37、pp45-48
- ・永野和邦（1987）、工業系地域における土地利用変動、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 22、pp193-198
- ・中林一樹 他（1989）、東京都区部の用途地域等の改定に関する実体的考察、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 24、pp61-66
- ・中村弘（1985. 7）、ワンルームマンションに対する行政の対応、住宅 Vol. 34、pp41-45
- ・鳴海邦碩（1989）、都心居住をめぐる論点と都市整備上の課題、都市計画 No. 158、pp11-16
- ・西島芳子（1991. 3）、中・高齢者世帯における住宅所有関係別家族・居住関係特性、一低所得階層の居住実態に関する研究一、日本建築学会計画系論文集 No. 421、pp95-102

- ・仁科信春（1992）、「住生活態度の類型とライフスタイルとの対応、一首都圏における公団住宅居住者の場合」、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 27、pp769-774
- ・西山賢一（1994）、「経済と経営の進化論、マニフェスト新しい経済学」、中央公論社
- ・日本建築学会（1987）、「建築・都市計画のための調査・分析方法」、井上書院
- ・日本都市計画学会、東京都住宅供給公社（1993）、「東京土地利用研究調査(Ⅲ)報告書」、p29
- ・野々山久也（1994夏）、「家族ライフスタイルの多様化への潮流」、都市住宅学 第6号、pp5-9
- ・八田達夫（1992）、「東京とニューヨーク（巨大都市の経済学1）」、経済セミナー、1992.4、pp99-104
- ・八田達夫（1994冬）、「どのような都心居住促進政策ならば正当化できるのか」、都市住宅学 第8号、pp16-25
- ・服部岑生（1994.8）、「建築計画からみた都心居住、住宅 Vol. 43、pp 10-15
- ・花岡利幸 他（1989）、「地方都市における都心の計画課題と都心居住、一甲府市、福井市の事例」、都市計画 No. 158、pp51-54
- ・濱英彦（1985.7）、「単身世帯の意義と動向、住宅 Vol. 34、pp2-8
- ・濱口武 他（1991）、「大都市地域における都心居住確保のための規制・誘導手法に関する研究」、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 26、pp769-774
- ・林玉子（1985.7）、「単身老人と住宅、住宅 Vol. 34、pp15-21
- ・林泰義（1989.8）、「複合高密度市街地において住機能を如何に確保しうるか、住宅 Vol. 38、pp2-15
- ・林泰義（1995）、「都心居住と成長管理、都市計画 No. 192、p47-52
- ・林良嗣 他（1978）、「既存土地利用モデルの概観、都市計画 No. 104、pp40-47
- ・稗田泰史（1988.7）、「民間ディベロッパーと都市の再生、住宅 Vol. 37、pp31-37
- ・久隆浩（1989）、「ライフスタイルから見た都心居住、都市計画 No. 158、pp22-27
- ・日端康雄（1989.10）、「最近の歐米の大都市住宅事情と住宅政策、住宅 Vol. 38、pp10-15
- ・日端康雄・安永臣吾（1991）、「東京の都心周辺住宅地の用途混在化と用途別容積制」、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 26、pp163-168
- ・日端康雄（1992.8）、「住宅マスタープランの課題、住宅 Vol. 41、pp29-33
- ・日端康雄（1993.6）、「大都市の都心周辺住宅地の定住政策にみられる土地利用規

- 制の効果に関する一考察、一東京都渋谷区神宮前地区を事例にして一、日本建築学会計画系論文集 No. 448、pp121-130
- ・日端康雄（1994冬）、大都市中心部での人口回復と定住の可能性とその条件、都市住宅学 第8号、pp11-15
 - ・平田道憲 他（1986）、住宅形態から見た大都市郊外コミュニティの年齢構造変化に関する研究、一家族サイクル時点に注目して、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 21、pp253-258
 - ・廣清志（1994夏）、大都市地域の住宅事情が出生率に及ぼす影響、一東京都区市1985年、1990年の観察一、都市住宅学 第6号、pp10-16
 - ・福井秀夫（1990. 9）、住宅・土地問題への接近の視点とその評価軸、住宅 Vol. 39、pp15-24
 - ・福川裕一（1995春）、都市住宅に対する都市計画的アプローチとは何か、都市住宅学 第9号、pp53-67
 - ・福田展淳（1994. 12）、東京都心・銀座日本橋地区の住居の実態、一高容積率指定の商業地域における重環境に関する調査研究一、日本建築学会計画系論文集 No. 466、pp95-102
 - ・藤井さやか 他（1997）、土地建物実態から見た中高層階住居専用地区の可能性と課題、都市住宅学 No. 19、pp57-62
 - ・藤村浩之（1993）、東京都心居住地域における地価構造を踏まえた住宅供給方策に関する研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 28、pp145-150
 - ・藤本昌也（1994. 8）、都心居住の＜空間形成＞を考える、住宅 Vol. 43、pp37-44
 - ・古田健一 他（1991）、セクターを単位とした大都市圏の持家住替え行動の分析、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 26、pp793-798
 - ・古藤浩（1993）、多地域の時系列データの分析一市街地密度の変化曲線を中心として一、筑波大学
 - ・本間重紀（1994）、規制緩和の基本的考え方、ジュリスト No. 1044、1994. 5. 1-15、p28を引用
 - ・前田尚美（1981）、区画整理地区における住宅のビルトアップによる市街化形成の問題（その2）、日本都市計画学会 昭和56年度学術研究発表会論文集 pp163-168
 - ・眞嶋二郎（1995. 3）、高齢者のいる世帯の世帯構成と住宅所有、一北海道及び札幌市の最近の動向一、日本建築学会計画系論文集 No. 469、pp167-176
 - ・眞嶋二郎 他（1994. 3）、世帯の成長段階の型とその住宅事情の変遷過程、一1988

- 年住宅統計調査札幌市特別集計等を通して一、日本建築学会計画系論文集 No. 457、pp167-176
- ・松岡豊三（1986. 5）、既成市街地における人口の呼び戻し、一東京都港区一、住宅 Vol. 35、pp16-23
 - ・松田智仁 他（1989）、都心住居地域地区計画による都心居住の推進に関する研究、都市計画 No. 158、pp47-50
 - ・松本真澄（1991. 8）、配偶関係からみた中高年単身者の動向、住宅 Vol. 40、pp21-25
 - ・松本暢子（1994冬）、高齢者対策と都心居住、一「都市中心部」問題の所在一、都市住宅学 第8号、pp44-47
 - ・三菱地所（1988. 1）、丸の内地区再開発計画
 - ・三菱総合研究所（1993. 3）、都心居住に関する調査研究報告書
 - ・蓑谷千凰彦（1997）、「回帰分析のはなし」、東京図書株式会社、pp33～70
 - ・蓑原敬（1988. 9）、大都市都心住宅問題の常識と非常識、住宅 Vol. 37、pp18-22
 - ・蓑原敬（1989. 10）、大都市の住宅問題は住宅政策と都市計画の構造変革を要請する、住宅 Vol. 38、pp7-9
 - ・三村浩史 他（1989）、人口及び住宅・土地資産の動きからみる地域居住の変容に関する研究、一初期郊外建て売り住宅密集地域の事例研究一日本都市計画学会学術研究論文集 No. 24、pp169-174
 - ・三宅醇（1991. 8）、単身居住の型の変化、住宅 Vol. 40、pp7-14
 - ・三宅醇（1994夏）、単身者の型と居住の動向、都市住宅学 第6号、pp17-21
 - ・宮澤美智雄（1989. 10）、大都市地域における住宅供給について、住宅 Vol. 38、pp2-6
 - ・宮澤美智雄（1990. 9）、大都市地域における今後の住宅・宅地供給のあり方、住宅 Vol. 39、pp10-14
 - ・宮澤美智雄（1995）、大都市地域における住宅供給について、住宅 Vol. 44、1995. 10、pp2-6
 - ・村木美貴 他（1994秋）イギリスにおける都市計画を通じたアフォーダブル住宅供給に関する研究、都市住宅学 第7号、pp79-89
 - ・文世一、吉川和広 他（1986）、既成市街地における居住環境整備に関するモデル分析、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 21、pp229-234
 - ・毛利哲男（1989. 6）、都市開発・住宅供給手法の現状、住宅 Vol. 38、pp2-6
 - ・森民夫（1986. 5）、既成市街地における住宅の整備、住宅 Vol. 35、pp24-33
 - ・森田真（1988）、限界容積率算出モデルについての考察、日本都市計画学会学術

研究論文集 No. 23、pp49-54

- ・森村道美 他 (1992. 8) 、住居系土地・建物利用実態からみた地域地区制の効果と課題、住宅 Vol. 41、pp24-28
- ・森村道美 (1993) 、都市計画の新しい体系、－東京23区の都市整備方針・地区別計画と住宅マスタープラン、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 28、pp271-276
- ・森本章倫 (1995) 、土地利用の規制緩和とインフラのバランス、日本都市計画学会、都市計画 No. 195、pp51-55
- ・安田孝 (1985) 、大阪の都心部における中高層集合住宅居住者の居住地移動に関する研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 20、pp409-414
- ・山本和彦 (1994. 8) 、民間事業主体の立場から、住宅 Vol. 43、pp29-36
- ・山本繁太郎 (1995) 、都市と住宅政策～都市居住の確立に向けて～、都市問題研究 第47券 第6号、pp17-28
- ・湯川利和 (1989) 、米国の中心都市における都市計画的諸問題、都市計画 No. 158、pp36-40
- ・吉田不雲 (1988. 9) 、都心区における住宅施策の試み、住宅 Vol. 37、pp31-35
- ・吉田不雲 (1990. 9) 、中央区の住宅行政の展開について、住宅 Vol. 39、pp46-49
- ・吉田不雲 (1994. 8) 、住宅政策の今後の課題、一都心地方自治体の立場から一、住宅 Vol. 43、pp21-24
- ・和田真理子・中井検裕 (1994) 、住工混在地区における土地利用変化のプロセスと最低敷地面積制限に関する研究、日本都市計画学会学術研究論文集 No. 29、pp493-498
- ・APA (1994. 4) 、Planning Vol. 60、No. 4、pp30-31
- ・A. マーシュ 他 (1994春) 、英国における住宅給付制度：その概要と評価、都市住宅学 第5号、pp98-105
- ・Harry W. Richardson and Peter Gordon (1993SUMMER) 、Market Planning-Oxymoron or Common Sense?-、APA JOURNAL、pp347-352
- ・Hamilton, B. W. (1989) 、Wasteful Commuting Again、Journal of Political Economy、97、pp1497-1504
- ・Ttidib Banerjee (1993SUMMER) 、Market Planning, Market Planners, and Planned Markets、APA JOURNAL、pp353-360